

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 20 日

事務事業名		乳幼児健康診査事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010203000333
						単独/補助	単独		040401
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	健康推進課
総合計画の施策名		0102 健康づくりの推進						課長名	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ	健康づくり
施策名		02 健康づくりの推進						担当者名	
手段名		03 ③母子支援体制の充実							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	01	03	00	母子衛生事業		
法令根拠						母子保健法			
						単年度繰返し (年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>①1歳児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査を市の集団健診として実施している。1歳6か月児、2歳児、3歳児健診時に歯科健診、ブラッシング指導、フッ素塗布を実施。子育て相談は、1歳6か月児、2歳児、3歳児健診で実施。令和2年度より、歯科健康診査・ブラッシング指導・フッ素塗布を医療機関委託。</p> <p>②岩瀬福祉センター・真壁保健センターの2会場。R1年度より、1歳児は岩瀬の1会場。</p> <p>③対象児の保護者に個別通知をしている。その他、健康カレンダー・広報・ホームページ・母子手帳アプリ「母子も」にも記載している。</p> <p>④健診結果により保護者に適切な指導・助言を行う。</p> <p>⑤保護者にその後の経過について確認を行う。(事後フォロー)</p>	<p>事業内容の企画検討</p> <p>医師、歯科医師、看護師、精神保健福祉士への依頼</p> <p>対象者の選定及び個別通知</p> <p>事前準備(会場準備など)</p> <p>当日の運営</p> <p>要観察・要精密者へのフォロー</p> <p>未受診者への対応</p> <p>台帳管理</p> <p>実績報告書作成</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事業内容の企画 各関係者への依頼 対象者の選定および個別通知 当日の運営 健診結果により、必要な児へのフォロー 未受診者への対応 台帳管理 実績報告書作成	開催回数	回	35.00	30.00	35.00	35.00	35.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
1歳児：おおむね生後11か月～12か月 1歳6か月児：満1歳6か月～2歳未満 2歳児：満2歳～3歳未満 3歳児：満3歳～4歳未満	1歳6か月児健康診査対象児	人	193.00	181.00	181.00	181.00	181.00
	3歳児健康診査対象者児	人	264.00	197.00	197.00	197.00	197.00
		人	0.00	0.00	0.00	328.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
児の疾病の早期発見、早期治療、早期療育ができる。 乳歯の手入れとブラッシング指導、フッ素塗布を実施し、むし歯予防をする。	1歳6か月児健康診査受診率 (母子保健事業報告)	%	99.00	97.00	98.00	99.00	99.00
	3歳児健康診査受診率 (母子保健事業報告)	%	94.70	95.50	96.00	97.00	98.00
	1歳6か月児、3歳児健診所見 要精密者	人	4.00	10.00	10.00	10.00	10.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	1,320	549			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	1,302	113	3,177			
事業費計(A)		千円	1,302	1,433	3,726			
正規職員従事人数		人	2.00人	2.00人	2.00人			

03年度事業費 実績 (千円)

04年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	03年度	04年度
01 報酬	540	954
02 給料	518	880
07 報償費	183	179
12 委託料	192	324
		18 負担金補助及び交付金 1,389
合計	1,433	3,726

事務事業名	乳幼児健康診査事業	事務事業No.	10203000333	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和40年母子保健法の施行に基づき県が1歳6か月児健診、3歳児健診を実施。その後1歳6か月児健診は昭和52年より、3歳児健診は平成7年より、県から市町村に移譲され現在に至っている。1歳児健診、2歳児歯科健診は母子保健法第13条を受け、幼児の発達の節目の時期なので健診を実施している。令和2年度より、歯科健康診査・ブラッシング指導・フッ素塗布については医療機関委託となった。また、2歳児歯科健康診査については、医療機関でのみの実施となった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
各節目ごとに健診の機会があるということは、住民によりよい保健サービスを提供できるという事なので、受診率も高く保たれている。また、フッ素の実施は住民から好評である。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 発達、発育の早期発見をして、早期治療や早期療育につなげ、子育て支援や育児不安の軽減を図り、次世代を担う子どもが健やかに育つ体制づくりに結びついている。また、総合計画で掲げる「健康づくりの推進」にも結びつく事業である。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 母子保健法に基づき実施している事業である。成長発達の著しい時期の乳幼児の健康状態を確認することで、保護者が安心して育児をすることが出来る。また健康診査時に様々な専門職種が関わることで、きめ細やかな対応ができる。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 健診結果において、要精密や経過観察を要する児、継続したサポートを必要とする児も増えている。また、未受診者への電話や訪問等で受診勧奨していく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 幼児期に専門医の健診が受けられないと疾病の早期発見・早期療育ができなくなる可能性が考えられる。また、保護者の育児不安や健診費用の負担が増える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
効率性	<input type="checkbox"/> 余地がない 乳幼児期は発達が著しい時期であり、適切な時期に健診を計画する必要があるため、統廃合は難しい。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 医師や心理相談員等の専門職種の確保は健康診査の精度を高め、維持するためにも必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各健診の対象者全員に周知している。受診者には必ずブラッシング指導・フッ素塗布の希望を確認し勧奨している。また、未受診者については次回受診できるように配慮している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	コロナ禍により、歯科健康診査・ブラッシング指導・フッ素塗布は医療機関委託とした。集団健診では感染対策を講じた。健診によっては受診率が低下しているものがあるため、健診未受診者には通知、電話、訪問等で受診勧奨を行った。また、健診時に子育て相談の機会を増やし、育児不安やことばの遅れなど、療育支援するきっかけとなっている。																			
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	○				低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持	○																				
低下																					
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>